

先生各位

新規受託と受託中止項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
このたび下記の検査項目につきまして新規受託と受託中止のご案内をさせていただきます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 受託開始日 2015年5月29日（金）受付分より
- 新規受託項目

項目コード	3102
検査項目名	RAS遺伝子変異解析
検体量/保存方法	パラフィン切片 5枚（5～10μm厚）／常温 または、未染スライド 5枚（5～10μm厚）／常温
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	設定なし
所要日数	5～8日 ※パラフィン切片または未染スライド標本でご依頼の場合
検査実施料	2500点（[D004-2]悪性腫瘍組織検査「1」悪性腫瘍遺伝子検査）
判断料	34点（尿・糞便等検査判断料）

《RAS遺伝子変異解析》大腸癌の組織中のRAS遺伝子変異の検出

多くの大腸癌でEGFR（Epidermal Growth Factor Receptor）が高発現していることが知られており、治療薬として高EGFR抗体薬が使用されています。KRAS遺伝子エクソン2、3、4、NRAS遺伝子エクソン2、3、4のいずれかに変異を有する場合は、抗EGFR抗体薬の治療効果が期待できないとの報告がなされています。「大腸癌患者におけるRAS遺伝子（KRAS／NRAS遺伝子）変異の測定に関するガイダンス」ではRAS遺伝子の測定に際し、KRAS及びNRAS遺伝子のコドン12、13、59、61、117、146に存在する変異の有無を測定することが望ましいと記載されています。

- 受託中止日 2015年5月29日（金）受付分より
- 受託中止項目

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目名	中止理由	代替項目
未掲載	4898	k-ras変異解析	検査試薬販売中止の為	上記のRAS遺伝子変異解析